

がん遺伝子パネル検査における germline findings に関する対応と遺伝診療体制に関する検討

1. 研究の対象

2019年10月～2027年3月に当院でがん遺伝子パネル検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

これまでに受けられた治療の内容などカルテに記録された情報をもとに、当院でのがんゲノム医療において、遺伝性のがん(生殖細胞系列のバリエーション)の可能性が指摘された方への診療の実施状況を把握し、連携体制を評価することを目的としています。

【研究期間】

倫理委員会承認日～2027年3月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

これまでの病歴および治療歴、検査結果、家族歴等、がんゲノム遺伝子パネル検査の種類とその結果、遺伝カウンセリングの記録、など、すでにカルテに記録されている診療情報

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

高知大学医学部附属病院 臨床遺伝診療部

〒7818-136 高知県南国市岡豊町小蓮

電話番号：088-866-5811（代表）

【研究責任者】

高知大学医学部附属病院 臨床遺伝診療部 認定遺伝カウンセラー 田代 真理